

No. 169
2015. 7

ねば

広報

— 私たちの村 —

人口と世帯 27年6月30日現在

総人口 1,019人
男 505人
女 514人
世帯数 440世帯

村の木 す ぎ

村の花 岩つつじ

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村1762
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



第6回 全国源流サミット

矢作川源流のむら
in 長野県根羽村

7月号の主な内容

9月4日(金)～6日(日)まで、第6回
全国源流サミットが根羽村で開催されます。
皆様のご参加をお願いします。

※詳細は6・7ページ

議会だより 2～5 ページ
自衛官等募集他 5 ページ
第6回全国源流サミット他 6・7 ページ
国保税のお知らせ他 8 ページ
マイナンバー制度について他 9 ページ
フォトコンテスト、戸籍だより他 10 ページ

議会だより

六月定例会

二十七年年度一般会計予算等

八議案について審議

六月十六日・十八日の二日間にわたり、六月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

一般質問

◆原 光史議員

質問 平成十九年の十月から根羽村で取り組んでいる根羽村水源の郷基金の現状と維持、継続について村長はどのような考えを持っているか。

回答 根羽村では全国に先駆けて平成十九年十月に根羽村水源の郷基金を創設した。平成二十六年まで個人、団体を含めて総勢四百八十一人の方からご寄付を頂いており、総額では二千九百三十九万余となった。寄付金については、現在基金として積み立てている。平成二十六年ではこの基金を有効に活用させて頂き、ねばねの里「なごみ」の特養棟へ太陽光発電を設置し、その部分に一千万円をこの基金から充当させて頂いた。従って平成二十六年度末の基金残

高は一千九百五万余となっている。これからも、根羽村の応援団となつて頂くために様々な方法を使つてPRしていく必要がある。特に寄付頂いた物を実際に使つた形に表し、皆さんにご報告申し上げる形が今年初めて出来るのでこれも一つの新しい方法として考えている。

◆南木一美議員

質問 村長が村づくりの五つの目標を掲げられた中で、村民の皆さんと一緒に考えて考え、運営する村づくりとあるが具体的にはどの様に実施するのか。また、三つの循環と流域連携による村づくりの中で地域資源を活用した産業の創出と雇用のある村づくりの具体的な施策について伺いたい。

回答 村づくりは行政のみで

出来るものでなく、村民の皆さんが自らどういった地域を作りたいのか、そして、作ろうと活動するのが一番の基本の部分だと考えている。そのためには、地域を思う人づくりが重要である。そうした中で村づくりの重要な目標として村民の皆さんと一緒に考えて考え、運営する村づくりを掲げている。村長一期目には、地区懇談会の開催、あるいは高齢者福祉施設の検討委員会だとか、大杉の魅力づくり委員会、ゆるキャラ検討委員会など様々な事業、計画の中で多くの村民の皆さんに積極的に関わつて頂いて事業を実施し、村を作り上げていく手法を行つてきた。この手法はこれから継続したい。また、地区懇談会では村の一年間の予算や重要事項の報告、住民の皆さんの要望や意見をお聞きする重要な機会として捉えており、村民の皆さんに直接参加して頂く一つの手段だと考えている。自分達の地域は自分達でつくる事が大切であり、行政はその活動を支援していく事が村づくりのスタンスであり、私はそれがベストだと考えている。

次に地域資源を使った村づくりについては、先週の日曜日（六月十四日）に第三回食の文化祭が開催された。第一回は平成二十五年十一月に開催され、六十五人から八十九品目、二回目が昨年の十月に開催され、五十九人から七十五品目が出品された。第三回は、五十一人から七十品余りの出展があった。また、今回は前回二回分をレシピア集にまとめ発刊、発売して頂いた。この食の文化祭からわかるように根羽村は食文化に恵まれており、この事は根羽村の大きな誇りであり、自慢である。まさに魅力的な地域資源の一つであると考えている。

次に新たな地域産業の創出について申し上げたい。具体的に林業の更なる充実として考えられるのは、村・森林組合・様々な仲間を通じて検討している地域材を流域材として使い根羽スギ、ヒノキを矢作川全体で使い合う事、或いは豊田市のスギも流域材として新たにお互いに使い合つていく流域材の概念を矢作川全体に広め、木を使う事によって販路の拡大を図り、更にそこで産業が確立されていく形がそれぞれ関係機関と始まったところである。また、木を生活の一部として積極的に活用していく、子ども達や一般の企業の皆さんへの木育などいろいろな場所に木を使う木づかい運動についても既に関係団体を通じて事業が展開されている。また、遊休農地を活用して、トウモロコシのブランド化、あるいは販路の拡充、そばの産地化等についても農事組合を中心に行われている。ねばねの里「なごみ」も福祉の関係の新しい雇用の場として活用して頂きたい。また、新地域再生マネジャー事業で取り組んでいる木の駅プロジェクトや、NPO法人の薪の駅や菜の駅などこういったプロジェクトにまず地元林家、農家、村民の皆さんが直接参加し活動する事が非常に重要であり、副収入としての一つの地域資源を使った産業が確立出来ると思う。こうした様々な地域資源を活用して複合的に取り組む事で山村地域に新しい雇用の機会が生み出されると考えている。

◆坂巻秀高議員

質問 平成二十七年年度予算の重点施策について。

回答 村づくりのスタンスとして三つの循環と流域連携による地域づくりを基本としている。まず一つは、働く場所や機会を創出する雇用の循環、

そして村内でお金を回す仕組みの経済の循環、村内で私達が生活するための医療、福祉、教育等の充実を図るサービスの循環、この地域内の三つの循環と併せ流域の中へ様々な情報を発信し、地域づくりを支援して頂く、そんな村づくりを考えている。具体的な五つの目標について、一つ目は村民の皆さんと一緒に考えて考え運営する村づくり、二つ目は地域にある資源を活用した産業の創出と雇用のある村づくり、三つ目は村民の皆さんの健康増進や福祉対策、生きがいのある村づくり、四つ目は教育文化、子育て支援の充実した村づくり、五つ目は生活環境整備と防災対策の充実した安全安心な村づくりという五つの目標を掲げ、この具体的な村づくりを平成二十七年予算のそれぞれの部門に計上している。

一つ目の村民の皆さんと一緒に考えて考え運営する村づくりについては、地区懇談会を始め様々な機会に村民の皆さんの意見を伺って、市政に反映していく考えである。更に、市政に対する意見を直接お話し出来ない場合もあるので、役場玄関に意見箱を設置する予定。住民の皆さんが自ら取り組み村づくりの事業に対する様々な支援をしていきたい。二つ目の地域にある資源を活用した産業の創出と雇用のある村づくりについて、林業振興の関係では基盤整備として林道二路線の開設、岩名沢線の舗装事業、そして村の大切な資源である森林の間伐の推進、昨年の大雪による被害森林復旧も計画的に進めていく。更に流域連携による地域づくりの一環として都市との交流連携事業の形で様々な流域の皆さんや団体、学校等の交流も計画している。農業振興に関しては、中山間地直接支払事業、有害鳥獣対策事業の拡充、遊休農地の活用、農家所得を図るためのそばやトウモロコシのブランド化事業として、新たに種子の補助や通販事業の支援など予算化している。商工観光対策では、地域内でお金を回す仕組みについて、商工会と実施しているプレミアム商品券の発行額の拡大、月瀬の大杉公園のトイレ整備や案内看板の設置など誘客対策を図る。

三つ目の村民の皆さんの健康増進や福祉対策生きがいのある村づくりについては、この三月からサービスを開始した、ねばねの里「なごみ」の開所によって今まで以上に村内の福祉サービスの向上が図られたと思っている。今後本社協やねばねの里「なごみ」、関連する団体と連携し、福祉のサービスを充実していきたい。併せて雇用の場所としても大きな部分を占めている。村内の交通手段であるお出かけ号はこの四月から全面無料化を図ったので積極的に利用頂きたい。更に住民健診や人間ドック補助など皆さんの健康維持に関することも予算に反映している。

四つ目は教育、文化、子育て支援の充実した村づくりについて、保育料の同時入所要件を撤廃し同一世帯の二人目からの保育料を半額、三人目を無料とした。また、子育て応援保育の一環として土曜日の希望保育時間の延長や高校生の修学援助を実施している。そして、若者定住対策の補助金も拡充していく。根羽村では、保育所、小学校、中学校の連携教育について積極的に取り組んでいる事、夢を叶える事の重要性を理解してもらうためにJFA日本サッカー協会の夢の教室を行い、子育て支援として取り組む予定をしている。

五つ目の生活環境整備と防災対策の充実した安全安心な村づくりでは、村民の皆さんからの要望が強かったため、三年間の期限付きだった住宅リフォーム事業を一年間継続する。また、生活に必要な村道、上下水道のインフラ等の修繕整備を行い、特に簡易水道では異常を感じする中央監視装置の導入を計画している。防災対策について、防災行政無線のデジタル化に向けての実施設計や非常用物資の計画的な村内の備蓄も計画している。以上の内容について平成二十七年予算として配分をしている。

質問 行政組織運営の経過状況と限界集落の解消について村長はどの様な考えがあるか。

①地区懇談会で得られたものとその評価について
②社会教育活動について
③地域おこし協力隊の活用について
④限界集落の解消について

回答 ①地区懇談会は毎年実施しており、村民の皆さんから直接意見を伺える事から行政に反映しやすく、村民の皆さんも行政に積極的に参加して頂く機会だと捉えている。要望等には、緊急性の高いものは早い段階で対応しており、政策課題などについては時間を頂きながら検討している。結果は、区長会を通じて報告している。懇談会は村民の皆さんが参加して頂く重要な機会であり、今後も活用していきたい。

②社会教育活動は、公民館活動を中心に活動しており、その他に生涯学習や文化財の保護や図書館運営を行っている。また、それぞれの団体の活動に対し支援を行っている。ただ、体育協会や文化協会は活動している人の減少により、今まで活動していた部が廃部になるケースもある。部員の勧誘や他の団体と協力し、活動へのきっかけづくりを行っているが、厳しい現状である。これからも、皆さんのニーズにあった講座の開設や取組が出来よう村としても様々な形で支援していく。

③地域おこし協力隊については、平成二十七年から新たに組み組む事として、四月から募集を開始した。二名募集しており、遊休農地対策のために農事組合法人とタッグを組んで頂き農業の復興、振興を図る目的に一名、そして酪農技術の継承と産業の復興を目指す事を目的に一名を募集している。

④限界集落の関係について、当村の高齢化率は約四十八・一％。二十三地区の内で六十五％を超えている地区は十三地区で全体の五十六％となっている。ただ、高齢化は進んでいるが、それぞれ厳しい中でも地域活動は維持されている。また、地区再編について一部意見があったが、地区ごとで財産を持つている事、それぞれの地区の都合もある事から、まず地区ごとで自主的に検討して頂くことが最善の方法であると考えている。区の総意として再編を進める事が決定すれば村としても全面的な支援・協力をして行きたい。

◆西尾竹司議員

質問 現在、源流の郷として下流域にきれいな水を流すことを目的に様々な施策を講じられているが、降雨時に自然現象とはいえ上流から流れる泥水について、どの様に考えるか、また、大杉公園の吊り橋も完成し、景観の面から対策が必要と思われるが、村長はどのように考えているか。

回答 近年は、ゲリラ豪雨により大量に雨が降り短時間に雨量が増え、一気に河川が増水する現象がある。このような時には山の地表面の土砂が

多く河川に流れ込む事が考えられるので、健全な森林の整備を進めていく必要が大切だと考えている。また、当村の農業集落排水や合併浄化槽について、設置状況を見ると加入率は約九割となっている。従って家庭雑排水が河川に流れ込む事はないと考えている。また、それぞれの水質検査についても、定期的に実施しており、問題ないと認識している。ただ、増水時の濁りについては、様々な原因で土砂が流れ込む場合がある。それ以外にも野生鳥獣が異常に増えており、その生態系の変化も影響しているとの考えもある。村としても、水源地としてきれいな水を作り下流へ流すのが責務であるのでこれから森林づくりを中心として対策を講じていきたい。

◆下井敦志議員

質問 根羽村では「スモールメリット」を合い言葉に保・小・中の一環教育が行われている。今後更に踏み込んだ一環、連携が期待されるが具体的にどの様な展開をするのか。また、子育て支援センターとして、教育機関としての保育所の一貫性、連携はどの様に考えているか。

回答 根羽村は、子供達が伸び伸びと健やかに成長して、人間性が豊かで、学力が伸びる環境にあると考えている。特に幼児期にあつては新しい事に興味を持ちチャレンジしていく時期にある。根羽村では、このような時期に多くの地域の方に関わって頂き、様々な体験が出来、或いは自然の美しさや厳しさなど体をもつて体験できる環境にある。このためには、子育て支援センターと保育所は表裏一体であり、そして子供が自立する力が付くように様々な場面で支援、応援しながら保育所、小学校、中学校の一貫性のある連携の取組の中で捉えていければと考えている。今進めている根羽学校連携教育の方針に沿って今後もより一層の充実した取組が出来るよう村として取り組んでいく。

ついては、読み聞かせ、田植えなど地域に根付いた根羽らしい取組を行っているが、この面の拡充についてどのような計画をしているか。また、村長あいさつにある「子ども達に今まで以上に積極的に村づくりに参加してもらう」とは具体的にどのような考えがあるか。

回答 学校と地域との連携に

り根羽村への愛着を留めて頂くことがこれからの根羽村の村づくりの一番大切な根っこの部分になるだろう。そして、根羽村では素晴らしい環境で安心して子育てが出来る事を特に交流の深い安城市民の皆さんをはじめ、多くの皆さんに積極的に情報発信し、体験子育てや体験入学をして頂いて根羽村の素晴らしさを実感してもらい根羽村への移住に繋がっていく事と思っている。

報告事項

◆平成二十六年度根羽村一般会計繰越明許費繰越計算書

条例

◆根羽村議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◆根羽村職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例
旅費規定に伴う私有車の交通費について改正がされました。

◆根羽村林業者研修宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

施設の増改築に伴い構造、使用料等について改正がされました。

補正予算

◆平成二十七年根羽村一般会計補正予算(第一号)

社会保障税番号制度に係るシステム整備費用等により、千八百三十一万八千円を追加し、総額十四億四千三百三十一万八千円余となりました。

◆平成二十七年根羽村簡易水道特別会計補正予算(第一号)

水道施設の施設整備に関する増額等により、百六十五万三千円を追加し、総額五千五百四十六万八千円余となりました。

◆平成二十七年根羽村介護保険特別会計補正予算(第一号)

負担割合に応じた国庫等の支出金により、千三百七十六万円を追加し、総額一億七千八百八十八万三千円余となりました。

請願・陳情

◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書

◆複式学級の編成基準改正、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書

平成27年度自衛官等募集案内

募集項目	資格(男女)	受付期間	試験日
一般曹候補生 (自衛官として定年まで働きたい方)	18～27歳(男女)	8月1日～9月8日	1 次：9月19日(学科)
自衛官候補生 (任期制の自衛官になりたい方)	18～27歳(男女)	8月1日～9月8日	男性：9月19日(学科)、9月20～22日・27日のいずれか1日 女性：9月26日
航空学生 (自衛隊のパイロットを目指したい方)	高卒(見込み含む) 21歳未満(男女)	8月1日～9月8日	1 次：9月23日(学科)
防衛医科大学校 看護学科学生 (看護師・保健師を目指したい方)	高卒(見込み含む) 21歳未満(男女)	9月5日～9月30日	1 次：10月17日(学科)
防衛医科大学校学生 (医師を目指したい方)	高卒(見込み含む) 21歳未満(男女)	9月5日～9月30日	1 次：10月31日・11月1日(学科)
防衛大学校学生 (幹部を目指したい方)	高卒(見込み含む) 21歳未満(男女)	推薦試験	受付期間：9月5～9日 試験日：9月26・27日
		総合選抜	受付期間：9月5～9日 1 次：9月26日(学科)
		一般試験(前期)	受付期間：9月5日～30日 1 次：11月7・8日(学科)
		一般試験(後期)	受付期間：平成28年1月20～29日 1 次：平成28年2月20日(学科)

※詳しくは自衛隊長野地方協力本部 飯田出張所までお問い合わせください。 ☎0265-22-2613

ふる里就職の集い 飯田2016

平成28年3月卒業予定者(大学・短大・専修等)を対象とした就職面接会を開催します。3年以内の既卒者も相談可能です。なお、本人の都合が悪いときはご家族の方でも結構です。

- ・地元有力企業約50社の人事担当者と直接面談出来ます。
- ・求人条件等の詳細・応募方法の話が聞けます。
- ・各種資料・情報の提供、業種相談等が行えます。

●日時

8月7日(金)

午後1時～4時まで(受付午後0時30分から)

※事前申込は不要

●場所

シルクプラザ(飯田市育良町1-7)

Tel0265-28-1110

●問合先

飯田職業安定協会(飯田商工会議所内)

Tel0265-24-1234

ハローワーク飯田(飯田公共職業安定所)

Tel0265-24-8609

☆面接会の情報は、『イイダカイシャナビ』で検索を!

北設広域事務組合 職員募集

北設広域事務組合の職員を募集します。詳しくは北設広域事務組合ホームページをご覧ください。下記連絡先までお問い合わせください。

★試験区分・採用予定人数等

技能労務職 一名
(松戸クリーンセンター勤務)
平成二十八年四月一日

採用予定

★受験資格

昭和六十年四月二日以降に生まれた方(高卒、短大卒程度)
★試験日時・場所

平成二十七年九月二十日(日)
午前十時～

設楽町津具総合支所会議室

★受付期間等

平成二十七年七月一日

～八月二十日

北設広域事務組合総務係あて

持参または郵送にて、

①試験申込書(指定様式)

②履歴書(指定様式)

③最終学校の卒業(見込)証明書等を提出してください。

★その他

指定様式は組合ホームページからダウンロードしてください。

★連絡先

北設広域事務組合総務係

電話

〇五三六八三一五七三〇

・Eメール

sounu@hokusetsu.or.jp

・HP

<http://www.hokusetsu.or.jp/>



流域はひとつ、運命共同体
源流には元気の源がある

平成27年9月4日(金)～6日(日)

■主催／第6回全国源流サミット実行委員会 ■共催／根羽村、全国源流の郷協議会、NPO 法人全国源流ネットワーク
■後援／国土交通省、総務省、環境省、林野庁、独立行政法人水資源開発機構、長野県

河川整備基金 このサミットは公益財団法人河川財団の河川整備基金を受けています。

第6回全国源流サミット プログラム

9 月 4 日(金)

- ◆全国源流の郷協議会 首長交流会 15:00～20:00
視 察 月瀬の大杉、高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」
交流会 ネバーランド

9 月 5 日(土)

- ◆全国源流の郷協議会 首長サミット 9:30～11:30
会 場／老人福祉センター「しゃくなげ」
- ◆全国源流物産展 10:00～16:00
会 場／根羽小学校体育館前
- ◆全国源流サミット 13:00～17:30
会 場／根羽小学校体育館
- オープニングセレモニー
 - 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトについて
環境省自然環境局 自然環境計画課長 鳥居敏男 氏
 - 矢作川源流絵図の紹介

■基調講演 サントリーホールディングス株式会社エコ戦略部 チーフスペシャリスト 山田 健 氏

■パネルディスカッション

コーディネータ	東京農業大学地球環境学部森林総合科学科 教授	宮林茂幸氏
パネラー	林野庁森林整備部森林利用課 山村振興・緑化推進室長	今泉裕治氏
	愛知県安城市 市長	神谷学氏
	明治用水土地改良区 専務理事	竹内清晴氏
	アイシン精機株式会社 総務部さわやかふれあいセンター長	杉田英俊氏
	根羽村森林組合 参事	今村豊氏

■クロージングセレモニー

◆全国源流の集い

18:00~20:00

会 場／トレーニングセンター

9 月 6 日(日)

◆根羽村エクスカーショ

9:00~13:00

矢作川源流地、高齢者福祉施設ねばねの里「なごみ」他

お問い合わせ先 〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村 1762 番地

根羽村役場 振興課内 第6回全国源流サミット実行委員会

TEL: 0265-49-2111 FAX: 0265-49-2277 Email: shinkou4102@nebamura.jp

「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」のご案内(第十回特別弔慰金)

このたび、第189回国会で成立した「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法の一部を改正する法律」に基づき、戦没者等の遺族に対する特別弔慰金(第十回特別弔慰金)が支給されることになりました。

■特別弔慰金の趣旨

戦後70周年に当たり、今日の我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表するため、戦没者等のご遺族に特別弔慰金(記名国債)を支給するものです。今般の法改正による特別弔慰金については、ご遺族に一層の弔慰の意を表するため、償還額を年5万円に増額するとともに、5年ごとに国債を交付することとしています。

■支給対象者

平成27年4月1日(基準日)において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受ける方(戦没者等の妻や父母等)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給。

◎戦没者等の死亡当時のご遺族で

①平成27年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方

②戦没者等の子

③戦没者等の ①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

④上記①から③以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)

※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

■支給内容

額面25万円、5年償還の記名国債

■請求期間

平成27年4月1日から平成30年4月2日まで

(請求期間を過ぎると第十回特別弔慰金を受けることができませんので、ご注意ください。)

■請求窓口

根羽村役場住民課(お住まいの市区町村 援護担当課)

☆特別弔慰金についてのご質問

Q 戦没者等の死亡後に生まれた孫は、支給対象になりますか？

A 特別弔慰金は、「弔慰」の意を表するという制度の趣旨を踏まえ、戦没者等の死亡当時のご遺族(三親等内)を対象としていますので、戦没者等の死亡後に生まれた方は対象になりません。

Q 国債の償還金は、いつ、どこで受け取ることができるのでしょうか？

A 特別弔慰金の支給は、無利子の記名国債により行われ、平成28年から毎年1回、償還日(4月15日)以降に均等に支払い(年5万円)を受けることができます。償還金の支払いを受ける場所は、請求手続の際に、ご希望の郵便局等を指定していただくことになっています。

詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/>

国民健康保険税率表

内 訳	所得割	資産割	均等割	平等割
医 療 費 分	2.66%	12.20%	13,000円	11,500円
後 期 高 齢 者 支 援 金 分	0.94%	9.80%	5,700円	4,500円
介護納付金分	1.02%	9.20%	7,000円	5,500円

平成二十七年六月八日に開催された「国民健康保険運営協議会」にて今年度の国民健康保険税について協議された結果、平成二十七年年度の税率は前年と同率とすることが答申されました。

村長は答申を尊重し据え置くことと決定しました。

今年度の国保税率等は表のとおりです。

国民健康保険税の
お知らせ

国民健康保険について

国保のしくみ

国保とは、病気やけがをしたときに安心してお医者さんへかかれるように、加入者(被保険者)がお金(国保税)を出し合って、医療費を補助する制度です。

国保に加入する人

職場の健康保険等に参加している人、後期高齢者医療制度の対象者、生活保護を受けている人以外のすべての方が国保に加入者となります。

※加入は世帯ごととなり、加入に関する届け出は世帯主が行います。

届け出は、取得や喪失の事由が発生した時から14日以内に役場窓口へ申請してください。

加入するとき

- 職場の健康保険等の資格を喪失したとき(退職日の翌日)
- 他市町村から転入したとき
- 子どもが生まれたとき
- 生活保護を受けなくなったとき

やめるとき

- 職場の健康保険等に参加したとき
- 他市町村へ転出したとき
- 死亡したとき
- 生活保護を受け始めたとき
- 後期高齢者医療制度の対象となったとき(75歳の誕生日から)

届け出がおくれると…

- ◆保険証がない期間の医療費はやむを得ない場合を除き全額自己負担となります。また、保険税は届け出をした日からの加入ではなく、資格を得た日までさかのぼって支払うことになります。【遡及賦課(そきゅうふか)】
- ◆資格のない保険証で医療機関を受診した場合、医療費の返還をしなければなりません。

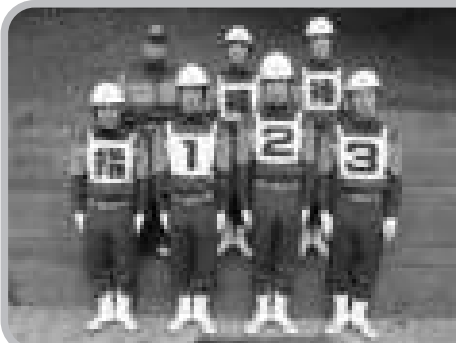
※国保についてのお問い合わせは役場住民課へお願いします。

飯伊消防技術
大会が行われ
ました



七月十二日(日)飯田市で飯伊消防技術大会が盛大に開催されました。当村からは第一分団(小型ポンプ操法の部)が出場しました。第一分団は大会に向け四月から連日練習を行ってきましたが、当日は猛暑の中でしたが、長期間にわたり練習してきた成果を十分に発揮できました。

第一分団の皆さん大変お疲れさまでした。



マイナンバー(社会保障・税番号)

制度が始まります

マイナンバー(社会保障・税番号)は、住民票を有する全ての方に一人一つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤であり、期待される効果としては、大きく三つあげられます。

①行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間で連携が進み、手続きが正確でスムーズになります。

②添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、国民の負担が軽減します。行政機関が持っている自分の情報の確認や、行政機関から様々なサービスのお知らせを受け取ることも可能になります。

③所得や行政サービスの受給状況を把握しやすくなり、負担を不当に免れたり、給付を不正に受けたたりすることを防止するほか、本当に困っている人にきめ細かな支援を行えるようになります。

個人番号の通知について

今年十月以降、住民票を有する村民の皆様一人一人に、十二桁のマイナンバー(個人番号)を村から通知します。中長期在留者や特別永住者などの外国人も対象です。住民票の住所あてにマイナンバーが記載された「通知カード」を送付しますので、住民票の住所と異なるところにお住まいの方はご注意ください。

マイナンバーは一生使うものです。マイナンバーが漏えいして、不正に使われるおそれがある場合を除いて、一生変更できませんので、大切にしてください。

国勢調査
2015

平成27年国勢調査にご協力をお願いします

平成27年10月1日現在で国勢調査を実施します。調査員が各世帯を訪問し、調査票を配布する方法で行われます。この調査結果は、児童福祉、若者の雇用対策、地域の活性化など、私たちの暮らしの様々な分野で役立てられる基礎データとなる重要な調査です。住民の皆様のご協力をお願い致します。

今回の調査から、オンライン調査が導入されます。簡単に回答したい、回答内容を見られたくない等という場合に、パソコンやスマートフォンからご回答いただくことができます。インターネットで回答したくないが、内容を見られたくないという場合には、調査票と一緒に配布される封筒に封入して担当調査員に提出してください。

●オンライン調査について・・・

回答期間は9/10(木)～20(日)です。

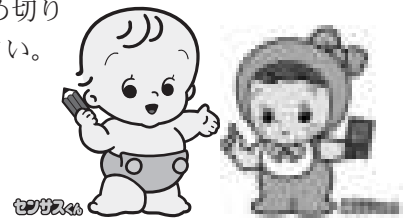
調査員さんが、ID・初期パスワード等の必要事項が書かれている紙を封筒に入れて配布します。

オンライン調査は先行方式で行うため、基準日である10/1以前に回答を締め切りますが、期間中にご回答いただけなかった場合は、紙の調査票にてご回答ください。

▼調査対象・・・日本に住んでいるすべての人及び世帯(外国人を含む)です。

▼配布物・・・オンライン調査に関するチラシ・紙の調査票

▼調査事項・・・世帯全員について、就業者について等の項目があります。



第三回

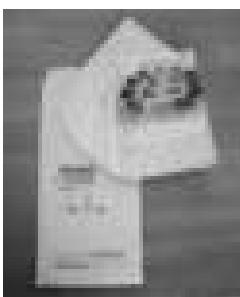
食の文化祭

六月十四日に第三回食の文化祭が開催されました。

五十九名の皆さんから七十五品目の手料理が展示されました。村内外から一二〇名余の皆さんがお越しくださり、大勢で郷土料理・家庭料理を楽しみました。

今後も、地域に伝わる料理等、住民の皆さんが様々な発表を行える場を大切にしていきたいと思っています。

今回、これまでのレシピをまとめて、レシピ集を発行しました。価格は、一冊一、〇〇〇円(村内者は三〇〇円、二冊目からは五〇〇円)です。役場振興課へ直接お申し込みください。



第35回

ふるさと根羽村フォトコンテスト
「秋・冬の部」審査結果

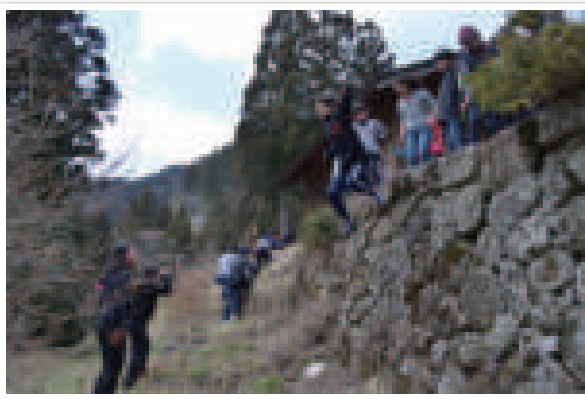
今年度実施しました、第三十五回ふるさと根羽村フォトコンテスト「秋・冬の部」において九名の方が入賞されました。

今回は根羽村の子ども達が元気に遊ぶ姿を撮影した作品が村長賞に、根羽村のお年寄りの豊かな表情を撮影した作品が観光協会長賞に選ばれました。

当コンテストに応募された作品は、現在ネバーランド杉ホールに展示してありますので、ご覧下さい。

なお、平成二十七年第三十六回春・夏の部を計画しておりますので、是非多くの方々の応募をお待ちしています。

村長賞



元気っ子

加本洋志子(岡崎市)

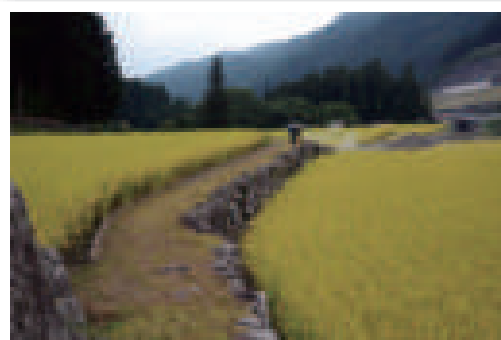
観光協会長賞



根羽村の人

杉浦幸美(碧南市)

審査員特別賞



石垣のある棚田

菅沼春彦(飯田市)

中日新聞社賞



冬蛸舞う
荻山清和(恵那市)

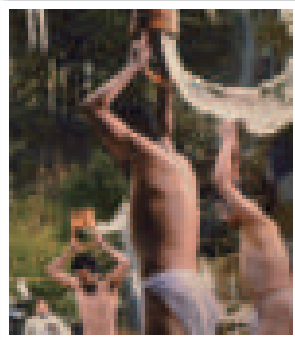
信濃毎日新聞社賞



錦秋の溪谷

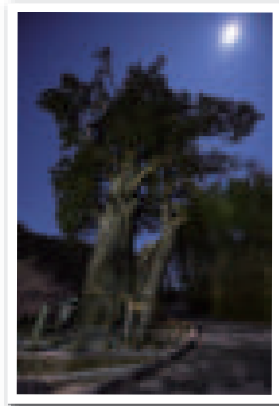
鳴海寿勇(飯田市)

中日新聞社賞



寒行
加本洋志子(岡崎市)

南信州新聞社賞



月夜の大杉
吉村 誠(奈良県・高田市)

写真刊賞



残り柿
串原幸延(下條村)

意見箱を設置しました

住民の皆さんのご意見を村政に反映するため、村民室(役場入り口)に意見箱を設置しました。様式は問いませんので、お気軽にご意見・ご要望等をお寄せください。

感謝の日
下川清光(西尾市)



優秀賞